

★流れ星を見よう ~オリオン座流星群~

流星群とは、毎年ほぼ同じ時期に「放射点^{ほうしゃてん}」と呼ばれる領域を中心として、流星が空の四方八方へと飛ぶように見える現象です。「オリオン座流星群」は、オリオン座に放射点がある流星群で毎年10月下旬に流星が見られます。



今年、オリオン座流星群は、21日夜半から22日未明にかけて極大を迎えます。ピーク時には、空の暗い場所では、1時間あたり10~15個ほどになると予想されています。1時間あたりの個数はそれほど多くない流星群ですが、新月直前で月明かりもほとんどない良い条件となり、期待できそうです。

ほぼ一晩中観察できますが、気温の低い季節なので、暖かい格好での観察をおすすめします。

10月22日 午前1時の空 (流星はイメージ)

流星群のしくみ

流星の正体は、主に彗星が放出したチリが地球の大気に衝突して上空 100km ほどの高さで発光する現象です。そして、流星群は彗星の軌道上に残っているチリの帯を、地球が横切るときに起こります。地球が、彗星の軌道と交わっているところを横切る時期は、毎年ほぼ同じであるため、流星群は毎年同じ時期に見られます。

流星群の元になる天体を「母天体」といいます。オリオン座流星群の母天体は、ハレー彗星です。

